

第二回小学生作文コンクール「海外に紹介したい日本のこと」
〈優秀賞…高学年の部〉

日本のさくら

昭和女子大学附属昭和小学校 四年 永井 紋奈

私が日本の中で一番好きなのは、さくらです。さくらは、春にさく花で、ピンク色です。日本の代表の花は、さくらで、日本で知らない人はいません。日本は、たて長の国なので、温かい南の方から順に、さくらの花がさきはじめます。さくら前線と言われるさくらの花がさく時期は、ニュースで見ることができるようになり、日本中の人が注目しています。さくらの花がさくのを、みんなが待っています。春がやってくると、みんながさくらがまんかいのところに来て、ごはんを食べながら、さくらを見ています。そういう会を、お花見の会ともいいますが、テレビでは、夜のお花見の会のために、朝早くからさくらの花の下が一番いい場所をとっている人がいることを見たりします。

今年の春、私も何度もお花見に出かけました。お母さんと自転車にのって、さくらの道を走り抜けたり、公園をおさん歩したりしました、おばあちゃんや、お母さんや、いとこやきとりやポテトを買って、夜のさくらの下で、お花を見ながら食べたりもしました。一番楽しかったのは、かっている犬をつれて、さくらがたくさんさいている公園におさん歩に行ったことです。犬も、さくらの花の下で、すぐくうれしそうに歩いたり、走ったりしていました。たまに鼻をぐっと上にあげて、お花のにおいをかいでいるみたいでした。

さくらを見ている人は、みんな笑顔で、私は、「さくら一本だけでも、百人位の人を笑顔にできてすごいな。」と思います。

私がさくらの中で一番好きなしゅるいは八重ざくらです。八重ざくらは、ソメイヨシノなどとはちがって、花びらが多くて、大きいので、とてもきれいで、私は大好きです。春が終わりに近づいてく

ると、さくらの花びらは、ちります。地面が花びらいっぱいのはじゅうたんみたいで、きれいですが、それが私はとってもさみしい気持ちになります。でも、私は、

「みんなをえ顔にしてくれてありがとう。」

と思いながら、ちるのを見ています、そうすると、私はさくらが、

「来年ね。」

と言っているように思います。だから、来年のさくらを、新しい一年生が四月に入学してくることのように楽しみに待っています。

海外の皆さんも、春に日本のじまんのさくらを見にぜひ来てください。

◎審査委員長からのコメント…

「さくらの木の下のおくさんの人の笑顔や楽しい交流の様子が生き生きと伝わってきます。さくらの持つ力に焦点をあてた構成がいいです」